

## 東南植物樂園

## MOONLIGHT CRUISE

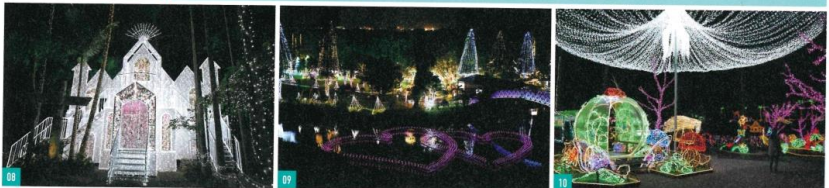


01 02 「鬼大城」の映像コンテンツ。ソニーの高精細CMOSイメージセンサーで映し出された実際の植物園の風景と映像コンテンツが合わさり、恐怖感をかきたてる。03 カートの前方に設置されたモニターで映像コンテンツを觀賞する。車内にもカメラが設置されているため、施設管理室から車内の様子を確認できる。04 地面には電線が敷設され、電動誘導システムによりコースをゆっくりにした速度で走行する。05 06 ムーンライトクルーズで使用する4人乗り電動カート。カートの外側には前後左右に大型モニターを設置。前後の縦型モニターはスマホをイメージさせるデザイン

## ソニー×ヤマハによる自動運転カート MRを使ったナイト・アトラクション



### ひかりの散歩道



1968年に開園し、約1,300種の貴重な植物が觀賞できる「東南植物楽園」。4万5,000坪の広大な敷地には「水上楽園」と「植物園」の2つのエリアが展開し、沖縄を代表する観光植物園として人気が高い。

水上楽園では毎年秋から春にかけてイルミネーションイベント「ひかりの散歩道」を開催しているが、それに合わせて「MOONLIGHT CRUISE」(ムーンライトクルーズ)という乗用カートを使用したアトラクションを実施し、話題を呼んでいる。

ムーンライトクルーズは、日没後の暗闇に包まれた植物園内のコースを4人乗りカートで1周するというナイト・アトラクション。

ソニーとヤマハ発動機のコラボレーションにより開発された電動カートに乗り、設定されたコースをゆっくりと約8分で1周する。料金は、イルミネーション入場料とのセット料金となる。

乗用カートは、「スマートフォンにカートに乗せる」をコンセプトにソニーの「Xperia」とヤマハ発動機のゴルフカートの技術を組み合わせで開発されたもので、カートの前後左右計4台のカメラと前後2つのセン

サーにより全自動運転を可能にしている。

アトラクションとしての最大の魅力は、映像コンテンツと植物園の現実空間が車内フロントの大型液晶モニターにMR(複合現実)として映し出され、独自の映像体験ができることである。コンテンツは「NIGHT AQUARIUM」(ナイト アクアリウム)と「鬼大城」(うにふぐしく)の2種類から選択するが、ナイトアクアリウムはジンベイザメやイルカなどの海洋生物の映像が流れ、子どもでも楽しめる内容となっている。これに対し、鬼大城は沖縄テレビのホラーオムニバスドラマ「琉球トラウマナイト」とコラボレーションしたホラー映像が流れるカップル、グループ向けコンテンツだ。

まだ試験的な導入であるため運行車両は1台での営業だが、最先端の映像技術を採用したプライベート感あふれる自動運転ライド・アトラクションは、コンテンツの質を高めバリエーションを増やすことで新たな需要を掘り起こすことも可能だ。同植物園では今後、水上楽園での全自動運転カートによる新サービスの導入も検討していくとし、早期導入が期待される。



07 08 09 10 11 東南植物楽園は1990年に沖縄県で最初にイルミネーションイベントを開催。今回はLED280万球を使用し、水面を照らす「ひかりの蓮の花」、植物全体をLEDで装飾した「キャッスル」など見所が多い。「2020年イルミネーションアワード」イルミネーション部門で第7位を受賞している

所在地	沖縄市昭花2146
経営体	東南植物楽園
開催期間	2021年1月15日～5月9日
所要時間	金・土・日・祝日・祝前日18:00～21:30
所要時間	約8分
料金	【イルミネーション入園セット】 Web予約前売券:大人2,800円 当日券:大人3,000円 【イルミネーション入園料】 大人1,980円 シニア:高校生1,210円 小中学生660円